

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2000 年 2 月 17 日作成)

| | | |
|------------------------------|--|-------------------------------|
| 小委員会名 | 建築論・建築意匠小委員会 | 主 査 名：小林克弘 就任年月：2005 年 4 月 |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 建築歴史・意匠委員会 | 委員長名：吉田綱市 主 査 名： |
| 設 置 期 間 | 2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月 | |
| 設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き) | <p>・本委員会は、(1)日本および海外の建築論、建築意匠に関する研究の持続的収集(基礎的な文献資料のデータベース化)、(2)建築論・建築意匠論研究の方法論の研究、(3)学際的、国際的研究の交流(公開研究セミナーの開催)、(4)研究成果の公表(建築論・建築意匠事典の刊行、公開研究会の記録の刊行)を具体的な目標に設定している。</p> <p>・2005年度は、(1)2005年大会(近畿)に於いて、建築歴史・意匠の研究協議会(主題「建築のデザインと論理の間」)を企画・運営し、建築論と建築意匠の間の諸問題について総合的な討論を行う(2)「建築論・建築意匠論事典」の刊行に向けて、編集作業の継続、を具体的活動計画とした。</p> | |
| 委員構成 (委員名(所属)) | <p>委員公募の有無：無</p> <p>建築論・建築意匠小委員会 主査 小林克弘(東京都立大学) 幹事 西垣安比古(京都大学) 崔 康勲(法政大学) 委員 岡河 貢(広島大学) 林 一馬(長崎総合科学大学) 竺 覚堯(金沢工業大学) 片木 篤(名古屋大学) 内藤 廣(東京大学) 富永 譲(法政大学) 白井秀和(福井大学) 松本静夫(福山大学) 奥山信一(東京工大) 西田雅嗣(京都工大) 建築論・建築意匠事典 WG 主査 前田忠直(京都大学) 幹事 岸田省吾(東京大学) 田路貴浩(明治大学) 委員 木下 央(東京都立大学) 入江正之(早稲田大学) 門内輝行(京都大学) 伊従 勉(京都大学) 市原 出(東京工芸大学) 佐野潤一(摂南大学) 末包伸吾(神戸大学)</p> | |
| 設置 WG (WG 名：目的) | <p>建築論・建築意匠事典 WG 開催数：2 回 建築論・建築意匠事典の刊行に向けての編集作業の継続。</p> | |
| 2005 年度予算 | 23 万円 | ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス： |

| 項 目 | 自己評価 |
|------------------------------------|--|
| 委員会開催数 | 2 回(年度内計画を含む) |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は 除く) | 無 |
| 講習会 | 無 |
| 催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等) | 無 |
| 大会研究集会 | 1. 建築歴史意匠部門研究協議会「建築のデザインと論理の間」 参加者数 200 名 「建築のデザインと論理の間」 |
| 対外的意見表明・パ ブリックコメント等 | 無 |
| 目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係) | 1. 大会における研究協議会では、多くの参加者を得て、充実した研究協議を行うことができた。とりわけ、学生参加者が多かったことは、特筆すべきであろう。 2. 「建築論・建築意匠論事典」の刊行に向けて、編集作業は、語句の選定など編集作業の最終段階に入ることができた。 |
| 委員会活動の問題点 ・課題 | 1. 大会における研究協議会や公開連続セミナーでは、学生や若い建築関係者が多く参加している。今後も、学会と若い世代を繋ぐ企画・運営を充実させていきたい。 |